

2022年度 第2学年 社会科 指導内容・評価規準

担当（岡田 実）

< 2 学年の重点指導目標（学習指導要領） >

- ① 既習事項の確認、くり返しの復習、地理的分野の学習と歴史的分野の学習の関連を図りながら、基礎的・基本的事項の確実な定着を図る。
- ② 歴史的事象を人物との関わりをふまえてまとめる。
- ③ 資料集を活用して地域的な特徴を考えたり、その特徴を発表できたりするようにする。
- ④ 多面的な見方や考え方の伸長を図る。

通年 ICT 使用 NAVIMA 使用予定

学期	学習事項	ねらい	時数	評価規準 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度
1	第3章 日本の諸地域 1節 九州地方 ～環境問題・環境保全に向き合う人々の暮らし	・九州地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・自然環境を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。 ・九州地方において、自然環境の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。 ・九州地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	5	①九州地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 自然環境を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 ②九州地方において、自然環境の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③九州地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	2節 中国・四国地方 ～都市と農村の変化と人々の暮らし	・中国・四国地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・交通・通信を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。 ・中国・四国地方において、交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。 中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	5	①中国・四国地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 交通・通信を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 ②中国・四国地方において、交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

<p>3節 近畿地方 ～歴史の中で形作られてきた人々の暮らし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・人口や都市・村落を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。 ・近畿地方において、人口や都市・村落の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。 <p>近畿地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>	5	<p>①近畿地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。人口や都市・村落を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。</p> <p>②近畿地方において、人口や都市・村落の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③近畿地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
<p>4節 中部地方 ～活発な産業を支える人々の暮らし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・産業を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。 ・中部地方において、産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。 ・中部地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。 	5	<p>①中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。産業を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。</p> <p>②中部地方において、産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③中部地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
<p>5節 関東地方 ～さまざまな地域と結び付く人々の暮らし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関東地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・交通・通信を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。 ・関東地方において、交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。 ・関東地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。 	5	<p>①関東地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。交通・通信を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。</p> <p>②関東地方において、交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③関東地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

	<p>6節 東北地方 ～伝統的な生活・文化や、災害からの教訓を受けつぐ人々の暮らし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・その他（生活・文化）を中核とした考察の仕方でも取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。 ・東北地方において、その他（生活・文化）の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。 ・東北地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。 	5	<p>①東北地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。その他（生活・文化）を中核とした考察の仕方でも取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。</p> <p>②東北地方において、その他（生活・文化）の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③東北地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
	<p>7節 北海道地方 ～雄大な自然とともに生きる人々の暮らし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。 ・自然環境を中核とした考察の仕方でも取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。 ・北海道地方において、自然環境の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。 ・北海道地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。 	5	<p>①北海道地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。自然環境を中核とした考察の仕方でも取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。</p> <p>②北海道地方において、自然環境の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③北海道地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
2	<p>第4章 身近な地域の調査</p> <p>1 身近な地域を見直そう</p> <p>2 テーマを決めて調査計画を立てよう</p> <p>3 野外観察や聞き取り調査をしよう</p> <p>4 資料を調べて調査を深めよう</p> <p>5 調査発表をまとめ、地域を見直そう</p> <p>6 発表会をして地域の将来像を考えよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実態や課題解決のための取り組みを理解させる。 ・地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解させる。 ・地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想、表現させる。 ・地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。 	10	<p>①地域の実態や課題解決のための取り組みを理解している。地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解している。</p> <p>②地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>③地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>

<p>3章 武士による支配の完成</p> <p>1 幕藩体制の始まり</p> <p>2 朱印船貿易から貿易統制へ</p> <p>3 四つにしばられた貿易の窓口</p> <p>4 琉球王国とアイヌの人々への支配</p>	<p>・江戸幕府の支配の下に大きな戦乱のない時期を迎えたことなど、中世から近世への転換のようすを、中世の武家政治との違いに着目して考察させ、自分の言葉で表現させる。</p> <p>・江戸幕府の成立と大名統制については、幕府が大名を統制するとともに、その領内の政治の責任を大名に負わせたことに気づかせる。</p>	<p>7</p> <p>①江戸幕府の成立と大名統制、領国などの幕府の対外政策と対外関係をもとに、幕府と藩による支配が確立したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②統一政権の諸政策の目的に着目して、江戸幕府により全国を支配するしくみが作られ、安定した社会が構築されたことを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③江戸幕府の成立と対外関係について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
<p>4章 天下泰平の世の中</p> <p>1 身分制社会でのくらし</p> <p>2 安定する社会と諸産業の発達</p> <p>3 各地を結ぶ陸の道・海の道</p> <p>4 上方で栄えた町人の元禄文化</p>	<p>・身分制のもとで、人々はそれぞれの身分の中で職分を果たしたこと、農村が幕府や藩の経済を支えていたことなどに気づかせる。</p> <p>・農林水産業や手工業、商業などの産業や河川・海上交通、街道が発達したことについて、身近な地域の特徴を生かした事例を選んで理解させる。</p> <p>・藩校や寺子屋などの普及に着目して、人々の教育への関心の高まりに気づかせるとともに、学問・芸術・芸能などの地域的な広まりに着目して、文化の社会的な基盤が拡大したことを理解させる。</p> <p>・近世の文化について、大阪・京都・江戸などの都市を舞台に、経済力を高めた町人を担い手とする文化が形成されたことなどを理解させる。</p>	<p>7</p> <p>①身分制と農村のようすをもとに、幕府と藩による支配が確立したこと、産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりをもとに、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②統一政権の諸政策の目的に着目して、江戸幕府により全国を支配するしくみが作られ、都市や農村における生活や変化し、安定した社会が構築されたことを考察したり、産業の発達と文化の担い手の変化に着目して、都市を中心とした経済が形成されていく中で、日本の文化の空間的な広がりが生み出され、それを背景として各地方の生活文化が生まれたことや、生産技術の向上や交通の整備と町人文化の特徴を考察したりするなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③産業の発達と町人文化などについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
<p>5章 社会の変化と幕府の対策</p> <p>1 貨幣経済の広まり</p> <p>2 くり返される要求と改革</p> <p>3 江戸の庶民が担った化政文化</p> <p>学習のまとめ</p>	<p>・貨幣経済の農村への広がりや自然災害などによる都市や農村の変化などをふまえ、近世社会の基礎が動揺していったことに気づかせる。</p> <p>・外国船の接近とそれに対応した幕府による北方の調査や打払令などを取り上げる。</p> <p>・財政の悪化などを背景とした幕府の政治改革を取り上げ、百姓一揆などに結びつく農村の変化や商業の発達などへの対応というねらいがあったことに気づかせる。</p> <p>・蘭学や国学などの中に新しい時代を切り開く動きがみられたことに気づかせる。</p>	<p>6</p> <p>①社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどをもとに、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②社会の変化と幕府の政策の変化に着目して、貨幣経済が農村に広がる中で経済的な格差が生み出され、それらの背景として百姓一揆がおこったことや、社会や経済の変化への対応としての諸改革の展開を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③幕府政治の展開について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

	<p>第5部 近代国家の歩みと国際社会</p> <p>1章 欧米諸国における「近代化」</p> <p>1 市民革命の始まり</p> <p>2 人権思想からフランス革命へ</p> <p>3 産業革命と資本主義の成立</p> <p>4 世界進出をめざす欧米諸国</p>	<p>・政治体制の変化や人権思想の発達や広がり、現代の政治とのつながりなどと関連づけて、アメリカの独立やフランス革命を取り上げ、政治的な対立と社会の混乱、そこで生じた犠牲などを経て近代民主政治への動きが生まれたことに気づかせる。</p> <p>・工業化による社会の変化という観点から、イギリスなどにおける産業革命を取りあげ、資本主義社会が成立したことや労働問題・社会問題が発生したことに気づかせる。</p> <p>・産業革命の進展にともなって、欧米諸国が新たな工業製品の市場や工業原料の供給地を求めてアジアへの進出を強めたことを理解させる。</p>	7	<p>①欧米諸国における市民革命や産業革命をもとに、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへの進出したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②工業化の進展と政治や社会の変化に着目して、近代化の進展により欧米諸国の政治や社会がどのように変化したかを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③欧米における近代社会の成立について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
	<p>2章 開国と幕府の終わり</p> <p>1 日本を取りまく世界情勢の変化</p> <p>2 諸藩の改革と幕府の衰退</p> <p>3 黒船来航の衝撃と開国</p> <p>4 江戸幕府の滅亡</p>	<p>・欧米諸国のアジア進出と関連づけて取り扱い、アヘン戦争後に幕府が対外政策を転換して開国したことと、その政治的および社会的な影響を理解させ、それが明治維新の動きを生み出したことに気づかせる。</p>	7	<p>①欧米諸国のアジア進出による中国の動き、日本の開国と貿易の開始による政治的、経済的、社会的な影響を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②工業化の進展と政治や社会の変化に着目して、欧米諸国の市場や原料供給地を求めたアジアへの進出が、日本の政治や社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
3	<p>3章 新しい価値観の下で</p> <p>1 新政府による改革</p> <p>2 富国強兵をめざして</p> <p>3 人々からみた富国強兵と文明開化</p>	<p>・明治維新について、複雑な国際情勢の中で独立を保ち、近代国家を形成していった政府や人々の努力に気づかせる。</p> <p>・富国強兵・殖産興業政策の下に新政府が行った、廃藩置県、学制・兵制・税制の改革、身分制度の廃止、領土の画定を取りあげ、学制など今日につながる諸制度がつくられたことや、身分制度の廃止にもかかわらず現実には差別が残ったことに気づかせる。</p>	6	<p>①富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などをもとに、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②明治政府の諸改革の目的に着目して、諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響を考察したり、明治維新について、近世の政治や社会との違いに着目して、近世から近代への転換のようすを考察したりするなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③明治維新と近代国家の形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

<p>4章 近代国家への歩み</p> <p>1 新たな外交と国境の画定</p> <p>2 沖縄・北海道と近代化の波</p> <p>3 自由と民権を求めて</p> <p>4 帝国憲法の成果と課題</p>	<p>・自由民権運動の全国的な広まり、政党の結成、憲法の制定過程とその内容の特徴を取り上げ、大日本帝国憲法の制定によって当時アジアで唯一の立憲制の国家が成立したことをふまえ、立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことの歴史上の意義や現代の政治とのつながりに気づかせる。</p>	7	<p>①自由民権運動、大日本帝国憲法の制定をもとに、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、日本の国際的な地位が向上したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②議会政治や政治の展開に着目して、世界との関係や、現代の政治とのつながりを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③議会政治の始まりについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
<p>5章 帝国主義と日本</p> <p>1 アジアの列強をめざして</p> <p>2 朝鮮をめぐる対立 日清戦争</p> <p>3 世界が注目した日露戦争</p> <p>4 むりかえられたアジアの地図</p>	<p>・国内の社会状況や国際情勢とのかかわりなどの背景をふまえて、欧米諸国と対等の外交関係を樹立するための長年の努力の過程で条約改正が実現したことを理解させる。</p> <p>・大陸との関係をふまえて、日清・日露戦争にいたるまでの日本の動き、戦争のあらましと国内外の反応、韓国の植民地化などを取り上げ、日本の国際的地位が向上したことを理解させる。</p>	7	<p>①条約改正、日清・日露戦争などをもとに、日本の国際的な地位が向上したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②外交や戦争の展開に着目して、世界との関係や現代の政治とのつながりを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③国際社会との関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
<p>6章 アジアの強国の光と影</p> <p>1 近代日本を支えた糸と鉄</p> <p>2 変わる都市と農村</p> <p>3 欧米の影響を受けた近代文化</p>	<p>・富国強兵・殖産興業政策の下、製糸業、紡績業や鉄鋼業などの近代産業が日清戦争前後から飛躍的に発展して、資本主義経済の基礎がかたまってきたこと、都市や農山漁村の生活に大きな変化が生じたことに気づかせる。</p> <p>・近代化遺産を取り上げるなど、身近な地域を例としながら、鉄道網の広がりや工業の発達などによって人々の生活の変化がみられた一方で、労働問題や社会問題が発生したことに気づかせる。</p> <p>・伝統的な文化の上に欧米文化を受容して、日本の近代文化が形成されたことに気づかせる。</p>	6	<p>①日本の産業革命とこの時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などをもとに、日本で近代産業が発達し、近代文化が形成されたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>②近代化がもたらした文化への影響に着目して、産業の発展が国民生活や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③近代産業の発達と近代文化の形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

<補充教材（発展的内容）の取り扱い>

- ・ 課題を設定して調べた内容をレポートにまとめたり、発表したりする。

<評価の方法>

- ・ ノート ・ ワークシート ・ 授業観察 ・ レポートや課題作品 ICT ・ ワーク ・ 単元テスト ・ 定期考査 ・ 課題テスト

<評定算出にあたっての重みづけ>

観点	観点1 知識・技能	観点2 思考・判断・表現	観点3 主体的に学習に取り組む態度
重みづけ	1	1	1